

保護者の皆様へ

平成30年度の学校評価を以下のとおりまとめましたので、ご一読ください。次年度もご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年度 小林市立須木中学校 学校の自己評価及び学校関係者評価書

4段階評価 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者のコメント
知育	<p>重点目標： キャリア教育の視点を踏まえた学習指導の工夫・改善と学力向上【自ら考える】</p> <p>1 学習指導の充実と授業力向上（年7回学力コンテスト実施：90点以上が80%以上、Web100%実現、）</p> <p>2 全体研究授業（年2回）及び校長参観授業の実施</p> <p>3 作品展・検定試験への挑戦（英検受検率80%以上）</p> <p>4 個別指導・学習支援の充実</p>	<p>○ 校内学力コンテストを計画的に取り組んでおり、学習意欲を高める上で効果が見られました。また、「90点以上の割合80%」がほぼ達成できました。今後も継続して実施していきたいと思います。</p> <p>○ webテストはすべての単元末テストとして実施し、結果入力まで行いました。実施後は、一人一人の結果を分析し、事後指導を行うことで確実な定着を目指しました。</p> <p>○ 各教科の授業においては、ICT活用（電子黒板、実物投影機等）が積極的に行われており、市外からの転入職員を交えての研修（デジタル教科書を活用）も行いました。</p> <p>○ これまで研究授業を計画的に行い、職員の授業に対する意欲も高まっています。また、職員一人一人が「分かる！・できる！」まで教えよう！！をキーワードとして授業改善に取り組むことができました。</p> <p>○ 検定試験には積極的に取り組むよう指導してきましたが、英語検定の受検率は41%でした。受検率のみではなく合格率も上げるようにさらに積極的な指導を心がけていきたいと思っています。</p> <p>○ 作品展には積極的に出品し、特に宮崎日日新聞の「若い目」「学園詩壇」「学園歌壇」には3月中旬現在で掲載作品が29点となりました。今後も継続して作品を出品していきたいと思っています。</p> <p>○ 各教科において学習課題を設定し、個に応じた支援も工夫して行うことができました。さらなる工夫に取り組みたいと思います。</p> <p>○ 各教科や道徳、学活、総合的な学習の時間の指導や朝の会および帰りの会を充実させるとともに様々な地域の行事に参加させる機会を設けました。今後もキャリア教育を充実させるとともに地域の活動にも積極的に参加させたいと思います。</p> <p>○ 家庭学習については、取組に個人差が見られ、満足いく結果が得られていません。家庭との連携を図るとともに、さらに指導を強化していく必要があると思っています。</p>	3	3	<p>○ 校内学力コンテストは、今後も引き続き実施したほうが大変良いと思う。</p> <p>○ 現在の生徒は、デジタルに強いですね。ICTの活用を積極的に行ってほしい。</p> <p>○ 授業参観で電子黒板の利用を見たことがありません。（たまたまかも）生徒の注意を引き、一番効果的な場面で利用していただきたい。</p> <p>○ 検定試験の取組を強化し、受検率の向上を期待します。</p> <p>○ 宮日作品は地域の方々もよく見られていて、須木の子もたちが載っているとよく声をかけていただきます。今後も積極的な応募をお願いしたい。</p> <p>○ 「家庭読書のすすめ」は継続してほしい。</p> <p>○ 文章を読んだら要点を短くまとめる習慣を身に付けると、すべての教科が伸びてくると思う。</p>
徳育	<p>重点目標： 社会の変化に対応できる能力と郷土を愛し他人を思いやる心の育成【自他を尊重する】</p> <p>1 年7回の「キャリア教育デー」実施（学びたい度アップ）</p> <p>2 あいさつ、立腰等基本的な生活習慣の確立</p> <p>3 「読み聞かせ」の実施と読書活動推進（月3冊以上）</p> <p>4 「こすもす科」の推進及び道徳教育の充実を図る。</p> <p>5 いじめ、不登校の実現</p> <p>6 コミュニケーション能力の育成（ピア・サポート事業）</p>	<p>○ キャリア教育に関する講演会（ドリーム・ジャンボ学園）を社会福祉協議会須木支所と連携を図り、今年度7回実施しました。様々な職種の方々の話を聞くことができ、生き方に関わる意識付けを行う上で効果が見られました。学びたい度（「将来の夢や希望があるか」「人の役に立つ人間になりたいか」「地域や社会で起こっている出来事に関心があるか」を総合的に判断し数値化したもの）については昨年度は45.8%でしたが、今年度は51.5%にまで向上しました。</p> <p>○ 様々な地域の行事に参加させることで、郷土を愛する心が育まれたと思います。今後も積極的に地域の行事や、各種ボランティア活動に取り組ませていきたいと思っています。</p> <p>○ あいさつはある程度できているが、「相手の目を見て元気よく」というまでには至っていません。あいさつの大切さを理解させるためにさらなる指導をしたいと思っています。</p> <p>○ 服装や身だしなみがよく、遅刻をする生徒もほとんどいません。</p> <p>○ 「立腰指導」は行っていますが、徹底までは至っていないのが実状です。集会などさまざまな場面で指導を行い、意識化を図っていききたいと思います。</p> <p>○ 「読み聞かせ」は計画的に実施しており、生徒も熱心に参加することができています。</p> <p>○ 学校図書館利用者数と貸出冊数は、昨年度に比べやや増えています。また、委員会の取組も実施しており、今後多読賞の表彰も行う予定です。</p> <p>○ 「こすもす科」についてはどの学年もしっかり取り組み、学習成果発表会では立派に発表しました。「こすもす科」の内容についてはさらに充実させるために改善を図っていききたいと思います。</p> <p>○ 道徳の時間についてはどの学年も計画的に授業を実施できています。</p> <p>○ 毎月いじめ等に関するアンケートを実施し、生徒の実態把握に努めています。人間関係での細かいトラブルはありますが、いじめについては0です。また、不登校及び不登校傾向のある生徒についても、家庭及び関係機関との連携を図った指導を続けたいと思います。</p> <p>○ ピア・サポート活動の取組は2年目ですが、今年度は2回実施することができました。さらに生徒会を中心に主体的に取り組ませていきたいと思っています。</p> <p>○ 2・3年生は、帰りの会でスピーチを行わせることで、コミュニケーション能力の育成を行っています。1年生も1月から実施しています。</p>	3	3	<p>○ ドリーム・ジャンボ学園の取組は良いことです。様々な職種の方にお話しをお話を聞かせることで、文字通り将来の夢、目標づくりに役立ててほしいです。</p> <p>○ 地域のイベントや活動に時間のゆるす限り参加してほしいです。</p> <p>○ 須木の子どもは、あいさつは良くしてくれる。</p> <p>○ あいさつはできていると思うが、少し声が小さいと思う。もっと大きな声で気持ちの良いあいさつができるとう良いと思う。</p> <p>○ あいさつ・立腰など、人への印象は大きく人生を左右する基本だと思います。何故しなければならぬのか、意味を考えさせてもいいかも知れません。</p> <p>○ いじめゼロについては今後も続くよう願います。不登校まではいかなくても少し学校に行きづらくなっている子もいるとのことですが、家庭等との連携を大切にしたい指導をお願いします。</p>
	<p>重点目標： 基礎体力や運動能力の向上と健康・安全に対する意識の高揚【自ら鍛える】</p>	<p>○ 部活動及び体育の授業を中心に、体力向上に一層取り組む必要があります。また、忍耐力に欠ける生徒も見られるため、精神面の強化を図る必要もあります。</p>			<p>○ 部活動においては、剣道部・ソフトテニス部、この2つで定着してくれるといいです。</p>

<p>体 育</p>	<p>1 体育的行事、委員会が主体となって取り組む「体力づくり」を通しての体力の向上 2 新体力テストの実施と分析・活用（「握力」「ハンドボール投げ」でTスコア50以上） 3 時期を逃さない性教育の計画的実施 4 虫歯治療率100%及び肥満度30%以上の生徒を減らす 5 実践的な安全・防災教育の実践</p>	<p>○ 委員会活動において、体力づくりのために、昼休みを使つてのサーキットトレーニングを行っています。今後も継続して行っています。</p> <p>○ 新体力テストの結果及び分析を全職員で共有し、体力の向上に向けて努力していきま</p> <p>○ 「握力」については、2年男女は50以下でしたが、1年男女と3年男女は50以上で、昨年度よりもよくなってきています。</p> <p>○ 「ハンドボール投げ」については、1年男女と2年男女、3年女子は50以下で、3年男子のみ50以上という結果でした。体育の授業における体力向上トレーニングの実践を年間を通して行う必要があると思っています。</p> <p>○ 性教育指導週間を2学期後半に設定し、養護助教諭と連携を図りながら、全学年実施しました。</p> <p>○ 虫歯治療率は12月末現在で25%（虫歯保有者8名中治療済み2名）です。2月末までには保護者にも積極的に啓発することで、治療率を100%にしたいと思ひます。</p> <p>○ 肥満度30%以上の生徒については、徐々にではあるが効果が現れてきています。</p> <p>○ 毎月安全点検を実施し、生徒が安全に過ごすことができるように危険箇所を把握し、その都度修繕を行っています。今後も継続して行っています。</p> <p>○ 計画的に避難訓練（地震・火災）を実施し、生徒の防災に対する意識を高めることができました。また、職員に対しても防災研修を行ったことで、職員の防災に対する意識も高まりました。</p>	<p>3</p>	<p>3</p>	<p>○ 子どもたちには虫歯治療率100%期待したいです。歯の大きさが年齢を重ねて分かってきましたから。</p> <p>○ 虫歯治療率が低いようです。抜歯して初めて歯の大きさが分かりました。歯の白さで印象も変わってくるので大切にしてほしい。</p> <p>○ 災害はいつどこで遭遇するか分かりません。例えば宮崎のイオンで地震（津波）が起きたらどうするかなど、違う場面も想定して訓練を行うといいでしょう。</p>
<p>食 育</p>	<p>重点目標： 食育の重要性を意識させる教育の充実【自ら関わる】 1 「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣化と朝食摂取100%実現 2 食の重要性を考えさせる手立てとして「子どもがつくるお弁当の日」を年3回実施 3 食育の充実を図るための「食育だより」発行と保護者への啓発 4 残食、残菜0の実現 5 全校一斉ランチの実施</p>	<p>○ 生徒に行ったアンケートで、早起きについては、ほとんどの生徒が決められた時間に起きることができたと回答していました。しかし、早寝については4分の1の生徒は守ることができていませんでした。睡眠の大切さを改めて指導する必要があると思ひます。</p> <p>○ 朝食については摂取率100%を達成することができました。</p> <p>○ 「お弁当の日」の実施については、保護者の皆様の協力もあり子どもたちも積極的な取組が見られました。また、「お弁当の日」の実施に向けて計画的に取り組むことができるよう事前指導をしっかりと行うことができました。</p> <p>○ 「食育だより」については計画的に発行することができました。今後も継続して実施していきたくと思ひます。</p> <p>○ 残食、残菜0について完全ではありませんが、ほぼできています。現在、1食以内の残食である。残す生徒が固定化しているため、個別指導を行っています。</p> <p>○ 月に1回席替えを行いながら、全校一斉ランチを実施することができました。楽しく会話をしながら食べる様子が見られました。しかし、食べ終わるのに時間がかかる生徒も数名いるので、時間内に食べ終わるような指導を行っていきたくと思ひます。</p>	<p>3</p>	<p>4</p>	<p>○ 朝食の摂取率100%大変素晴らしいことだと思ひます。今後もさらなるご指導をお願いします。</p> <p>○ 朝食100%は素晴らしいです。</p> <p>○ 早寝も重要ですが、質の良い睡眠がとれているか、朝の目覚めの具合もアンケートすると良いと思ひます。</p> <p>○ 全校一斉ランチはいい取組だと思ひます。小規模校ならではのアイデアでとてもいいです。食べるのが遅い子が中にはいるので、時間内に食べられるよう努力してほしいです。</p>
<p>そ の 他</p>	<p>重点目標： 教職員一人一人の資質向上と人材育成 1 組織力の向上「報告・連絡・相談」の徹底 2 評価制度を活用したフィードバックによる人材育成 3 コンプライアンス研修の実施・充実 4 家庭・地域及び関係機関、企業等との連携、協働 5 「働き方改革」に伴うリフレッシュデイの完全実施と部活動運営の工夫・改善（部活動の量から質への転換）</p>	<p>○ 報告・連絡・相談の徹底が実践できています。今後も継続して行うことで、組織力のさらなる向上に努めたいと思ひます。</p> <p>○ 目標設定ミーティングや中間ミーティング、フィードバックについて計画的に実施することができました。それぞれの場面で職員の職務行動や役割達成について協議するとともに適切に指導することができたとと思ひます。</p> <p>○ コンプライアンス研修については定期的に行うことができました。しかし、マンネリ化する傾向にあるのでさらに工夫改善していきたくと思ひます。</p> <p>○ 学校だよりを月1～2回発行するとともに、ほぼ毎日学校のホームページを更新することで、開かれた学校づくりを進めることができました。また、定期的に学級通信を発行することで、学級担任と家庭との連携を深めることもできました。</p> <p>○ リフレッシュデイについては完全実施が達成できています。また、部活動についても月4回以上は土日を休養日としており、職員の負担軽減につながっており、働き方改革が実践できています。継続して実践していきたくと思ひます。</p>	<p>3</p>	<p>4</p>	<p>○ 教職員の交通違反・事故の無いことを祈ります。余裕をもって出勤・安全運転を分かち合っていることを呼びかけてください。</p> <p>○ 学校だより・学級通信などは写真を多く入れてあるので参観日に行けない保護者なども学校の様子や子供たちの表情とかも分かっていると思ひます。</p> <p>○ リフレッシュデイなどを活用して先生方もリフレッシュされることが必要かと思ひます。部活に休みを入れていくことも賛成です。</p>

次年度の方向性についての校長所見

今年度は、学力の向上に向けて教師一人一人の授業力を向上させるために、校長による参観授業を一人あたり2回ずつ実施しました。参観の視点を明らかにした授業参観カードを用いて授業評価を行い、事後指導を行うことにより課題が明確になり、授業力の向上を図ることができました。主題研究では、来年度研究公開も控えており、指導案形式やキャリア教育の視点を生かした授業の在り方についても共通理解を図りながら研究を進めることができました。今後も9カ年間を見通した授業の在り方や新学習指導要領に対する研修を取り入れながら学力の向上に取り組んでいきたくと思ひます。

また、次年度3年目の取組となるピア・サポート活動においては、担当を中心に計画的に取り組むことで生徒同士のよりよい人間関係づくりを目指していきたくと思ひます。さらに、今年度以上に地域の行事やボランティア活動に積極的に取り組み、学校・家庭・地域の連携を強化していきたくと思ひます。